

栃
木の

土地 改良



みどり
水土里ネットとちぎは本会の愛称です。

第519号 平成30年度第1号



とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト（田んぼまわりの生きものの調査の部）最優秀賞
三区町環境保全隊（那須塩原市）

栃木の土地改良

第519号 | 平成30年度第1号

MAIN CONTENTS

ごあいさつ

- ◇平成30年度新任ごあいさつ 栃木県農政部農地整備課長 1

定期人事異動

- ◇栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動（主幹以上） 2
◇栃木県職員（土地改良関係）の退職者（平成30年3月31日付け） 2
◇本会職員の定期人事異動 3
◇本会職員の退職者（平成30年3月31日付け） 3
◇平成30年度水土里ネットとちぎ事務局機構図 4

春の叙勲

- ◇旭日小綬章（地方自治）、旭日双光章・旭日単光章（土地改良事業）3名受章 5

会議

- ◇平成29年度第4回理事会を開催 6
◇平成29年度第3回監事会を開催 6
◇第100回通常総会を開催 7
◇平成30年度第1回理事会を開催 8
◇平成30年度第1回監事会を開催 9
◇平成30年度栃木県土地改良事業推進協議会第1回役員会を開催 9
◇平成30年度栃木県21世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催 10
◇平成30年度栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催 11
◇平成30年度農業農村整備広報担当者会議に出席 12
◇水土里ネット広報女性部会総会に出席 12

起工式

- ◇県営経営体育成基盤整備事業 山口地区起工式 13
◇県営経営体育成基盤整備事業 上石那田地区起工式 13

事業情報

- ◇多面的機能支払交付金に係る推進シンポジウムを開催 14,15,16
◇平成29年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会を開催 16

表彰

- ◇第59回全国土地改良功労者表彰式 17

新規職員

- ◇平成30年度新規採用職員紹介 18,19

会員情報

- シリーズ土地改良区紹介⑭水土里ネット湯津上 20,21

案内

- ◇各種資格取得者（平成29年4月～平成30年3月） 22
◇第41回全国土地改良大会「宮城大会」のお知らせ 22
◇第101回臨時総会・平成30年度会員研修会のお知らせ 22
◇クールビズ開始のお知らせ 22
◇土地改良法の一部を改正する法律案概要 23
◇出前講座を活用しましょう 24
◇会員向けホームページ作成サービス開始のお知らせ 24
◇株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ 24
◇全国水土里ネットからのお知らせ 24



平成30年度「新任ごあいさつ」

栃木県農地整備課長

青柳 俊明

この度の定期人事異動により、農地整備課長を拝命いたしました青柳でございます。

会員の皆様方には、日頃から本県農業の振興及び農村地域の発展に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、TPPをはじめとする貿易自由化の進展や平成30年度からの米政策の見直しなど、我が国の農業政策は今まさに大きな転換期を迎えております。

こうした中、県では、耕地面積の8割を占める水田を活用し、農業の収益力を高めていくため、「園芸大国とちぎづくり」を掲げ、これまでの施設園芸はもとより加工業務用露地野菜等の生産拡大を重点的に進めていくこととしております。

併せて、国際化にも対応できる競争力のある経営体を育成するため、農地中間管理機構との連携による担い手への農地集積・集約の加速化や生産コストの更なる低減に向けた各種施策を展開しているところです。

これらの重点施策を実現するためには、農業の基

礎となる生産基盤の整備が極めて重要であり、水田のフル活用や土地利用型園芸を可能とする農地の大区画化・汎用化を推進するとともに、老朽化が進む農業水利施設の計画的な補修、更新整備、ICTを活用した水管理システムの導入、更には農村の強靱化に向けた防災・減災対策など、地域のニーズに即した強い農業の基盤づくりを積極的に進めて参ります。

また、土地改良区に対しましては、引き続き、運営基盤の強化に向けた統合整備を推進するとともに、検査指導及び人材育成等の支援を通じて、運営・施設管理体制の強化を図って参ります。

今後も子供たちに夢を与えることのできる魅力ある農業・農村の実現を目指し、関係機関・団体と連携しながら、農業農村整備のなお一層の推進に努めて参りますので、会員の皆様の一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の御発展と皆様の御健勝を祈念申し上げ、新任のあいさつといたします。

栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動

◆平成 30 年 4 月 1 日付け土地改良関係幹部職員（○印は昇任、敬称略）

農政部長（農政部参事兼下都賀農業振興事務所長）	荒井 真一
農政部参事兼芳賀農業振興事務所長（生産振興課長）	○木田 勉
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長（農地整備課長）	○南木 好樹
農政部参事兼那須農業振興事務所長（上都賀農業振興事務所長）	原 利浩
農政課総務主幹（財政課総務主幹）	中谷 一彦
経済流通課長（採用）	渡邊 優介
経営技術課長（河内農業振興事務所企画振興部長）	新見 清夫
生産振興課長（農政課農政戦略推進室長）	金原 啓一
農地整備課長（芳賀農業振興事務所企画振興部長）	青柳 俊明
河内農業振興事務所長（農業大学校副校長兼教務部長）	小林 一成
上都賀農業振興事務所長（安足農業振興事務所長）	鈴木 政明
安足農業振興事務所長（経営技術課主幹（経営体育成担当））	天谷 正行
農政課主幹兼課長補佐（総括）（都市計画課長補佐（総括）（景観づくり担当））	○上野 雅仁
農政課農政戦略推進室長（経済流通課農産物ブランド推進班長）	熊田 欽丈
農村振興課主幹兼課長補佐（総括）（経営技術課長補佐（総括）（普及情報担当））	○伊村 務
農村振興課主幹（農村環境担当）（農村振興課主幹（環境対策担当））	増田 康則
経済流通課農産物ブランド推進班長（農村振興課主幹兼課長補佐（総括））	○岸 洋助
農地整備課主幹兼課長補佐（総括）（農地整備課長補佐（総括））	○木村 浩幸
農地整備課主幹（水利保全担当）（技術管理課検査監）	渋井 亨
河内農業振興事務所企画振興部長（下都賀農業振興事務所企画振興部長）	相田 竜太
上都賀農業振興事務所次長兼管理部長（教育委員会事務局教職員課主幹兼課長補佐（総括））	早乙女 薫
芳賀農業振興事務所企画振興部長（農業大学校主任教授）	河原 雅広
下都賀農業振興事務所次長兼管理部長（県央産業技術専門学校総務部長兼総務課長）	高久 謙一
下都賀農業振興事務所企画振興部長（生産振興課水田農業改革班長）	早乙女和彦
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長（農地整備課主幹（水利保全担当））	福田 典耕
那須農業振興事務所次長兼管理部長（大田原女子高等学校主幹兼事務長（総括）兼大田原東高等学校事務長（総括））	野澤 悦夫
那須農業振興事務所企画振興部長（塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長）	和氣 好延

○

○

栃木県職員（土地改良関係）の退職者（平成30年3月31日付け）

◆退職者（敬称略）

農政部参事兼芳賀農業振興事務所長	田中 敏夫
農政部参事兼那須農業振興事務所長	神辺 佳弘
河内農業振興事務所長	荒井 忠雄
上都賀農業振興事務所次長兼管理部長	杉本 勝紀
下都賀農業振興事務所次長兼管理部長	芝宮 誠一
那須農業振興事務所次長兼管理部長	鈴木 修二

本会職員の定期人事異動

◆平成 30 年 4 月 1 日付け職員（○印は昇任、敬称略）

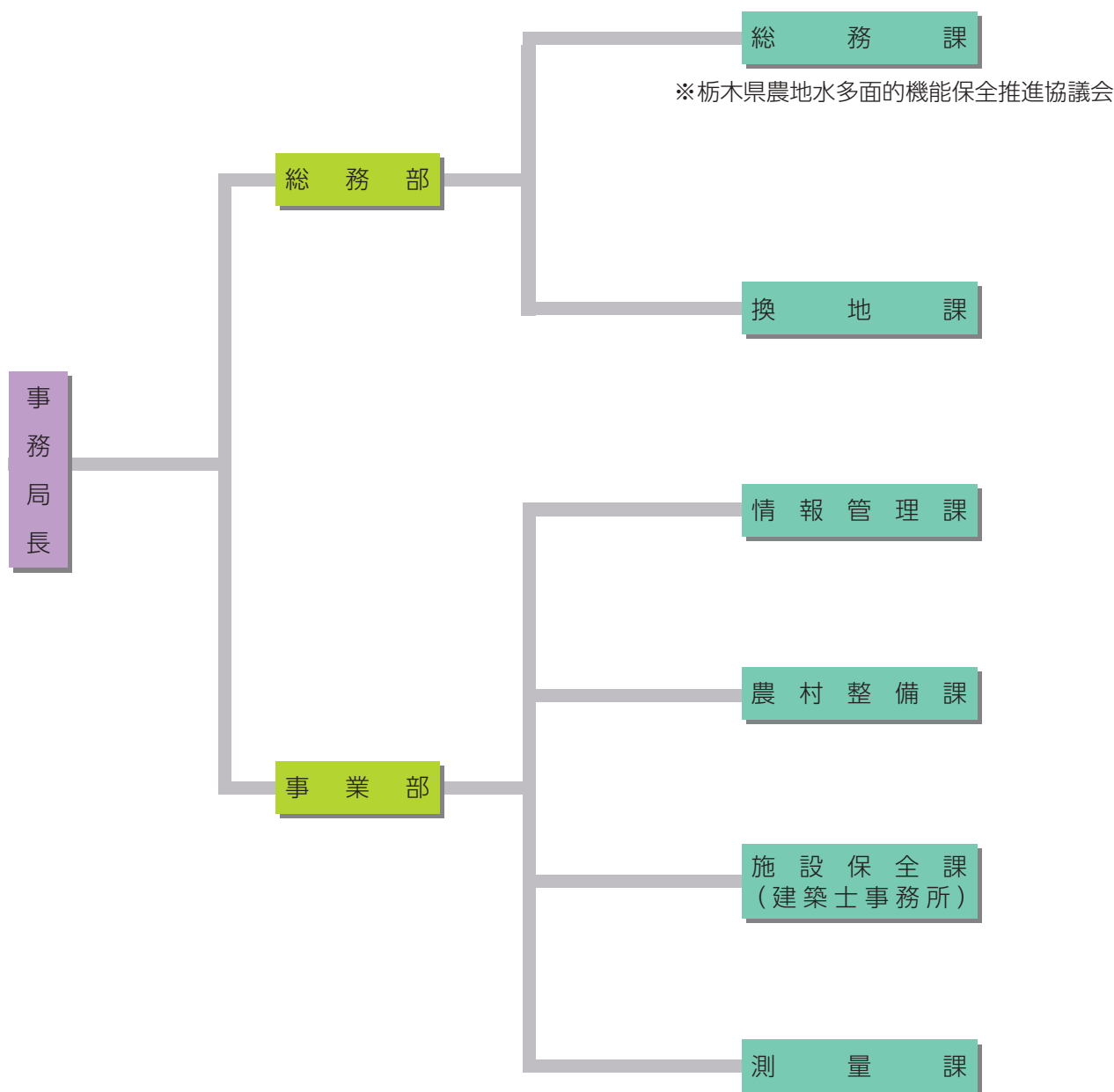
事務局長（総務部長）	○高橋 克己
総務部長（施設保全課長）	○天川 幸人
総務課長補佐（農村整備課長補佐）	大島 俊久
総務課主任（新規採用）	高橋昌一郎
総務課主事（農地・水保全対策室主事）	岡田 美香
換地課主幹（換地課長補佐）	○金子 敦志
換地課長補佐（換地課副主幹）	江面 憲治
換地課副主幹（換地課係長）	○阿久津浩子
換地課副主幹（換地課係長）	○石川 浩子
換地課係長（農地・水保全対策室係長）	安部 未和
換地課係長（換地課主査）	伊原 敦夫
換地課嘱託（再雇用）	越井 富男
事業部長（事業部次長兼農村振興課長）	村上 祐二
情報管理課長補佐（農村整備課長補佐）	安達 裕之
情報管理係長（農村整備課係長）	今 貢弘
農村整備課長（測量課長）	山口佳子男
農村整備課主幹（農地・水保全対策室主幹）	小藤 克己
農村整備課主幹（情報管理課長補佐）	○菊地 一俊
農村整備係長（情報管理課係長）	坂本 宜凡
農村整備課係長（測量課係長）	石濱 秀一
農村整備課技師（新規採用）	大場 隆太
施設保全課長（施設保全課主幹）	関谷 昌宏
施設保全課主幹（施設保全課長補佐）	○佐藤 和宏
測量課長（農村整備課主幹）	渡辺 光一
測量課技師（施設保全課技師）	成松 翔太
測量課技師（農村整備課技師）	渡邊 恒平
測量課嘱託（再雇用）	横山 和彦

本会職員の退職者（平成30年3月31日付け）

◆退職者（敬称略）

事務局長	横山 和彦
事業部長	手塚 光一
総務部次長兼農地・水保全対策室長	別井 進
換地課主幹	越井 富男
測量課主幹	笹沼日出夫
総務課主事	助川駿之介

平成30年度 水土里ネットとちぎ事務局機構図



◇ 職員数 ◇

所 属	職 員	嘱 託	補助職員	計
事 務 局	1 名	—	—	1 名
総 務 部	2 2 名	2 名	8 名	3 2 名
事 業 部	3 2 名	3 名	8 名	4 3 名
計	5 5 名	5 名	1 6 名	7 6 名

(平成30年4月1日現在)

春の叙勲

旭日小綬章(地方自治)、旭日双光章・ 旭日単光章(土地改良事業)3名受章

政府は、4月29日付けで2018年春の叙勲の受章者(4,151名)を発表しました。

本県関係では70名(旭日章21名、瑞宝章53名)が受章されました。

土地改良関係者では、猪瀬成男氏(元・本会理事)

が旭日小綬章を、椎名英雄氏(元・本会理事)が旭日双光章を、日賀野定一氏(二宮土地改良区理事長)が旭日単光章を受章されました。

お祝いを申し上げますとともに今後益々のご活躍をお祈りいたします。

旭日小綬章



猪瀬 成男 氏 昭和16年5月14日生まれ(77歳)

【経歴】

平成7年5月～平成23年5月 上三川町長

平成18年3月～平成23年5月 栃木県土地改良事業団体連合会理事

上三川町長として4期16年の永きにわたり在職し、地方自治の発展に尽力され、平成18年、本会理事に就任し、地域農業振興をはじめ、栃木県の土地改良事業の推進にも大きく貢献されました。

旭日双光章



椎名 英雄 氏 昭和14年8月22日生まれ(78歳)

【経歴】

平成18年12月～平成21年3月 清水川土地改良区 理事長

平成21年11月～平成29年3月 思川西部土地改良区 理事長

平成24年5月～平成25年4月 下都賀地方土地改良事業推進協議会 会長

平成24年8月～平成29年3月 栃木県土地改良事業団体連合会 理事

平成25年4月～平成29年3月 栃木県南部地方土地改良事業推進協議会 会長

平成25年5月～平成29年3月 小山市土地改良推進協議会 会長

持ち前の実行力で3土地改良区の合併を主導・推進し、実現され、健全な土地改良区運営と適切な施設の維持管理に尽力されました。また、国営南部土地改良事業推進にあたり、国営栃木南部土地会長事業推進協議会副会長として、事業着手に大きく貢献されました。

旭日単光章



日賀野 定一 氏 昭和9年8月26日生まれ(83歳)

【経歴】

平成9年12月～平成23年3月 小貝川西土地改良区 理事長

平成23年4月～平成27年3月 二宮土地改良区 副理事長

平成27年4月～現在 二宮土地改良区 理事長

土地改良区の運営基盤強化と効率的な運営を図るために、旧二宮町内の6つの土地改良区の統合整備を積極的に推進されました。

合併後も二宮土地改良区の副理事長・理事長として、地域の農業生産基盤の整備に大いに貢献されております。

平成29年度第4回理事会を開催

日 時：平成 30 年 2 月 23 日（金）

午後 1 時 30 分～

場 所：栃木県土地改良会館

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、大久保寿夫会長の開会挨拶に続き、南木好樹栃木県農政部農地整備課長から来賓挨拶をいただき、議事に入りました。

議事は、大久保会長が議長となり、横山事務局長の議案等説明の後、次の議事及び協議事項、報告事項について審議し、全て原案どおり可決決定・承認されました。



開会挨拶を述べる大久保寿夫会長

【議事】

- 第 1 号議案 平成 29 年度一般会計予算の補正
- 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画
- 第 3 号議案 平成 30 年度賦課金徴収基準及び徴収の方法
- 第 4 号議案 平成 30 年度受託料徴収基準
- 第 5 号議案 平成 30 年度一般会計予算
- 第 6 号議案 平成 30 年度役員報酬
- 第 7 号議案 平成 30 年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法
- 第 8 号議案 平成 30 年度金銭の預入先
- 第 9 号議案 第 100 回通常総会の招集及び同総会付議事項
- 第10号議案 表彰規程による表彰者の選考
- 第11号議案 員外役員の推薦

【報告事項】

平成 30 年 4 月職員採用

平成29年度第3回監事会を開催

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火）

午前 10 時 00 分～

場 所：栃木県土地改良会館

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、和氣六一郎代表監事が議長となり、次の議事について原案どおり議決し、会議を途中休会し、監査を執行しました。

議事を再開し、監査結果は、「概ね良好」と判定され、監査報告書を決定しました。

最後に、それぞれ監査報告書及び関係帳簿に署名押印を行い閉会しました。

【議事】

- 第 1 号議案 平成 29 年度業務の執行状況及び同一般会計の執行状況並びに財産の状況に関する監査



開会挨拶を述べる和氣六一郎代表監事

第100回通常総会を開催

◆第100回通常総会◆

日 時：平成30年3月19日（月）

午前10時00分～

場 所：栃木県土地改良会館

会員総数145名の内、会員145名の出席（内本人出席69名、代理出席23名、書面による出席53名）のもと、第100回通常総会を開催し、以下の10議案について審議をいただいたところ、全て原案どおり承認、議決されました。

また、総会終了後に、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問から、「農業農村整備の今後の展開方向」と題して約30分間の講演をいただきました。

なお、功労者表彰受賞者は後記のとおりです。

【議事】

第1号議案 平成29年度一般会計予算の補正

第2号議案 平成30年度事業計画

第3号議案 平成30年度賦課金徴収基準及び徴収の方法

新役員（敬称略）

理事 星野 光利（上三川町長）

理事 野中 位徳（うつのみや中央土地改良区理事長）

理事 斎藤 文夫（日光市長）

理事 田井 哲（日光市土地改良区理事長）

理事 見目 匡（芳賀町長）

理事 大久保寿夫（小山市長）

理事 黒川 英代（南河内土地改良区理事長）

理事 花塚 隆志（さくら市長）

理事 和氣六一郎（しおや土地改良区理事長）

理事 津久井富雄（大田原市長）

理事 高橋 勇丞（大田原市土地改良区理事長）

理事 福島 泰夫（那珂川町長）

理事 岡部 正英（佐野市長）

理事 三田 隆俊（三栗谷用水土地改良区理事長）

理事 池田 真久（学識経験者）

監事 藤平 元一（市貝町土地改良区理事長）

監事 小森 照男（烏山土地改良区理事長）

監事 穉野 和人（学識経験者）



開会挨拶を述べる大久保寿夫会長

第4号議案 平成30年度受託料徴収基準

第5号議案 平成30年度一般会計予算

第6号議案 平成30年度役員報酬

第7号議案 平成30年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法

第8号議案 平成30年度金銭の預入先

第9号議案 総会議決事項の理事会委任

第10号議案 役員の改選

◆平成29年度表彰者（敬称略）

個人表彰（13名）

◎本会役員（1名）

斎藤 文夫（日光市長）

◎土地改良区理事長（3名）

阿久津勝美（鬼怒川左岸土地改良区）

片山 茂吉（永野土地改良区）

相田 英幸（江川南部土地改良区）

◎県職員（1名）

荒井 忠雄（河内農業振興事務所長）

◎市町職員（1名）

横尾 英雄（栃木市産業振興部農林整備課長）

◎土地改良区職員（3名）

杵渕美智子（鬼怒川右岸土地改良区）

佐山 光以（思川西部土地改良区）

橘川 成美（鬼怒川東部土地改良区）

◎本会職員（4名）

横山 和彦（事務局長）

手塚 光一（事業部長）

別井 進（総務部次長兼農地・水保全対策室長）

越井 富男（総務部換地課主幹）



代表授与される相田英幸江川南部土地改良区理事長



講演される宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問

平成30年度第1回理事会を開催

日 時：平成 30 年 4 月 9 日（月）

午後 4 時 30 分～

場 所：宇都宮市内

会議は、天川総務部長の司会進行で開会し、大久保寿夫会長職務執行者の開会挨拶に続いて、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問並びに青柳俊明栃木県農政部農地整備課長から来賓挨拶をいただき、議事に入りました。



開会挨拶を述べる
大久保寿夫会長職務執行者

議事は、最初に会長職務執行者の大久保寿夫理事が議長となって、役員改選に伴う会長、副会長、常任理事の

互選が行われ、大久保寿夫理事（小山市長）が会長に、高橋勇丞理事（大田原市土地改良区理事長）が筆頭副会長に、田井哲理事（日光市土地改良区理事長）が副会長に、池田真久理事（学識経験者）が専務理事（常任理事）に選任されました。

続いて、第 2 号議案からは、大久保会長が議長となり、次の議事及び報告事項について審議し、全て原案どおり可決決定・承認されました。

【議事】

- 第 1 号議案 会長、副会長、常任理事の互選
- 第 2 号議案 平成 30 年度一般会計予算の補正
- 第 3 号議案 資格報奨制度規程の一部改正

【報告事項】

- 第 41 回全国土地改良大会（宮城大会）

平成30年度第1回監事会を開催

日 時：平成 30 年 4 月 9 日（月）

午後 4 時 15 分～

場 所：宇都宮市内

【議事】

第 1 号議案 代表監事の互選

第 2 号議案 平成 30 年度監査計画

会議は、富山総務課長の司会進行で開会し、穂野和人代表監事職務執行者が議長となり議事に入りました。

議事は、最初に役員改選に伴う代表監事の互選が行われ、藤平元一監事（市貝町土地改良区理事長）が代表監事に、小森照男監事（烏山土地改良区理事長）が筆頭監事に選任されました。

続いて、第 2 号議案は、藤平代表監事が議長となり、平成 30 年度監査計画について審議が行われ、原案どおり議決されました。



監事会の様子

平成30年度栃木県土地改良事業推進協議会 第1回役員会を開催

日時：平成 30 年 4 月 9 日 午後 3 時 00 分～

場所：宇都宮市内

同協議会は、栃木県の農業生産基盤並びに農村生活環境の整備開発を推進し、農業生産性の向上と農村生活環境の改善を促進することを目的として、土地改良事業推進のための調査啓蒙、関係機関及び関係団体との連絡調整などを行っております。

会議は、高橋勇丞会長職務執行者が開会挨拶を述べたあと、第 1 号議案で仮議長となり会長・副会長の互選が行われ、会長に高橋勇丞理事（北那須土地改良事業推進協議会会長）、副会長に田井哲理事（上都賀土地改良事業推進協議会会長）、黒川英代理事（県南部地方土地改良事業推進協議会会長）が選任されました。続いて、第 2 号議案以降は高橋会長が議長となり平成 28 年度事業

報告について、第 3 号議案平成 28 年度収入支出決算について、第 4 号議案平成 30 年度事業計画について、第 5 号議案平成 30 年度収入支出予算についての 4 議案について審議が行われ、それぞれ原案どおり承認・議決されました。



開会挨拶を述べる高橋勇丞会長職務執行者

平成30年度 栃木県21世紀土地改良区 創造運動推進委員会を開催

日時：平成30年4月9日（月）午後3時50分～

場所：宇都宮市内

この委員会は、栃木県における21世紀土地改良区創造運動を着実に推進することを目的として、創造運動に関する調査、研究、啓発や土地改良区への指導、支援等

の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長職務執行者（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、仮議長となり、第1号議案は、去る3月31日をもって任期満了となった、委員長および副委員長の互選について上程され、全会一致で次のとおり選任されました。

◇栃木県21世紀土地改良区創造運動推進委員会委員◇（敬称略）

委員長	高橋 勇丞（北那須土地改良事業推進協議会長）
副委員長	田井 哲（上都賀土地改良事業推進協議会長）
	池田 真久（栃木県土地改良事業団体連合会専務理事）
委員	野中 位徳（栃木県河宇土地改良協議会長）
//	藤平 元一（芳賀郡市土地改良区協議会長）
//	黒川 英代（栃木県南部地方土地改良事業推進協議会長）
//	欠 員（塩谷地方土地改良事業推進協議会長）
//	欠 員（南那須地域土地改良事業推進協議会長）
//	清水 靖夫（栃木県農政部農村振興課長）
//	青柳 俊明（栃木県農政部農地整備課長）
//	高橋 克己（栃木県土地改良事業団体連合会事務局長）

※ 委員の任期は、平成33年3月31日までの3年間。

第2号議案平成29年度活動報告について及び第3号議案平成30年度活動計画についての2議案の審議を行い、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。



開会挨拶を述べる高橋勇丞委員長職務執行者

平成30年度 栃木県土地改良区 統合整備推進協議会を開催

日時：平成30年4月9日（月）午後3時25分～

場所：宇都宮市内

同協議会は、栃木県が推進する土地改良区の統合整備対策に積極的に参画、支援していくことを目的として、平成7年度に本会内に設置し、統合整備に関する調査、

研究、啓発や指導助言等の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長職務執行者（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、仮議長となり、第1号議案は、去る3月31日をもって任期満了となった、委員長および副委員長の互選について上程され、全会一致で選任されました。

◇栃木県土地改良区統合整備推進協議会委員◇（敬称略）

委員長	高橋 勇丞（北那須土地改良事業推進協議会長）
副委員長	田井 哲（上都賀土地改良事業推進協議会長）
	池田 真久（栃木県土地改良事業団体連合会専務理事）
委員	青柳 俊明（栃木県農政部農地整備課長）
//	野中 位徳（栃木県河宇土地改良協議会長）
//	藤平 元一（芳賀郡市土地改良区協議会長）
//	黒川 英代（栃木県南部地方土地改良事業推進協議会長）
//	欠 員（塩谷地方土地改良事業推進協議会長）
//	欠 員（南那須地域土地改良事業推進協議会長）
//	高橋 克己（栃木県土地改良事業団体連合会事務局長）
※	委員の任期は、平成33年3月31日までの3年間。

第2号議案平成29年度活動報告について及び第3号議案平成30年度活動計画についての2議案の審議を行い、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。

続いて、報告事項においては、とちぎ土地改良区アク

ションプランに基づく取組について、オブザーバーとして出席した県農地整備課管理指導担当の磯野副主幹より、平成29年度の主な取組・成果について、および平成30年度の主な取組について説明を受けました。



開会挨拶を述べる高橋勇丞委員長職務執行者



報告事項を説明する磯野晃代副主幹

平成30年度 農業農村整備広報担当者会議に出席

日時：平成 30 年 4 月 23 日（月） 午後 1 時 30 分～
場所：東京都内砂防会館

この会議は、関係者で何をすべきかを考え情報を共有し、より効果的で積極的な広報活動を展開すべく担当者の意思の疎通を図るために毎年開催されています。

冒頭、全国水土里ネット小林祐一専務理事の挨拶をいただいたのち、議事に入り、会議の活動方針を決定いたしました。

その後、「広報の基本のき」というテーマで、(株) 電通パブリックリレーションズ 青木浩一氏から、“情報洪水”の昨今においてどのようにすればターゲットに伝わるかについてご講義をいただきました。

活動方針

- ①「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018 の継続的实施
- ②農業農村整備優良地区コンクール（NN コンクール）と 21 世紀土地改良区創造運動表彰の実施
- ③“疏水”を活かした広報の展開（疏水ネットワークへの支援）
- ④ホームページ等を活用した情報発信の強化
- ⑤メディアを活用した情報発信の強化
- ⑥水土里レポーターの取り組み
- ⑦広報セミナー（ワークショップ）の開催
- ⑧イベント等における新たな情報発信の強化
- ⑨水土里ネット広報女性部会の運営
- ⑩その他（アプリの活用、季刊誌の充実化）



挨拶を述べる小林祐一専務理事



講演される青木浩一氏

水土里ネット広報女性部会総会に出席

日時：平成 30 年 4 月 24 日（火）
午前 9 時 30 分～
場所：東京都内砂防会館

会議は、全国水土里ネット小林祐一専務理事が開会挨拶を述べられた後、議事に入り、新年度役員の選任及び活動計画が承認されました。さらには、意見交換会として、昨年度、女性部会を立ち上げた宮城県の設定の経緯及び活動報告について、説明いただき、全国で女性部会設立への機運が高まってきていることを部会員一同認識しました。また、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員を講師にお迎えした勉強会も開かれ、

女性がかかわる土地改良事業から考える「食育」について貴重なご講義をいただきました。



県営経営体育成基盤整備事業 山口地区起工式を開催

日時：平成 29 年 12 月 21 日（木）午前 10 時 00 分～

場所：日光市山口地内

この度、県営経営体育成基盤整備事業山口地区の起工式が、日光市山口地内において厳かに執り行われました。

起工式は、神事後、阿久津一郎山口地区圃場整備事業推進委員会委員長が主催者として挨拶され、池田勝浩栃木県上都賀農業振興事務所農村整備部長、阿部博美栃木県議会議員、田井哲日光市土地改良区理事長らが祝辞を述べられ、工事の安全を祈願しました。



挨拶を述べる阿久津一郎委員長

◇事業概要◇

事業名	県営経営体育成基盤整備事業
事業区域	日光市山口地内
事業実施年度	平成 28 年度～平成 33 年度（予定）
地区面積	35.1ha
総事業費	5 億 9 千万円
組合員数	35 名



記念撮影

県営経営体育成基盤整備事業 上石那田地区起工式を開催

日時：平成 30 年 1 月 31 日（水）午前 10 時 00 分～

場所：宇都宮市上石那田地内

この度、県営経営体育成基盤整備事業上石那田地区の起工式が、宇都宮市石那田町地内において厳かに執り行われました。

起工式は、神事後、手塚俊夫上石那田土地改良区理事長が主催者として挨拶され、関根忠雄栃木県河内農業振興事務所農村整備部長、櫻井啓一宇都宮市議会議員、大根田清次宇都宮市農業企画課長らが祝辞を述べられ、工事の安全を祈願しました。

◇事業概要◇

事業名	県営経営体育成基盤整備事業
事業区域	宇都宮市石那田町地内
地区面積	35.6ha
総事業費	6 億 7 千万円



挨拶を述べる手塚俊夫上石那田土地改良区理事長

多面的機能支払交付金に係る 推進シンポジウムを開催

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会は、栃木県総合文化センターメインホールに於いて『多面的機能支払交付金に係る推進シンポジウム』を開催しました。シンポジウムには、農村環境の保全活動に取り組む活動組織や関係団体など900名を超える参加者が集まり、基調講演や活動・取組み事例の紹介に熱心に耳を傾けました。

はじめに、大久保寿夫県協議会長（水土里ネットとちぎ会長）から、「地域コミュニティの活性化や地域住民・都市住民等の活動への参画を推進するため、新たな取り組みのきっかけとされたい」と開会挨拶がありました。続いて、米田博次農林水産省関東農政局次長から来賓挨拶が述べられました。



挨拶を述べる大久保寿夫会長



挨拶を述べる米田博次関東農政局次長

第1部の「田んぼまわりの生きもののマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト表彰式」では、大久保寿夫会長から入賞をされた後記16作品の活動組織代表者に賞状及び記念品が授与されました。また、審査委員

長の水谷正一宇都宮大学名誉教授からは、コンテストの意義並びに入賞作品の講評をいただき、受賞者で記念撮影が行われました。



表彰状授与



審査委員長による作品の講評



受賞者記念撮影

第2部の基調講演では、「農村と都市の協働による地域資源管理」と題し、西山末真宇都宮大学農学部農業経済学科准教授により基調講演が行われ、食と農をむすぶ女性の役割や、土地とむすびつく視点の必要性などにつ

いて講義され、参加者は興味深く傾聴していました。

第3部は、活動・取組み事例の紹介として、鹿沼市の亀山貴則板荷畑いつくし美会事務局長より、「多面的な地域資源の保全から活用へ～次世代に地域・農業を引き

継ぐために～」と題して、耕作放棄地解消に向けた取組や環境保全と環境学習の取組事例などが紹介されました。続いて、那須塩原市の鈴木良雄三区町環境保全隊事務局長より、「将来を見据えた多面的機能支払の活用方

～地域の協働力で地域資源や農村環境を保全～」と題して、農業者と非農業者による共同活動の取組事例や将来を見据えて組織化した委員会などが紹介されました。



西山未真宇都宮大学農学部准教授による基調講演



亀山貴則板荷畑いづくし美会事務局長による事例紹介



鈴木良雄三区町環境保全隊事務局長による事例紹介

「田んぼまわりの生きもののマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト」入賞作品

田んぼまわりの生きもののマップ



最優秀賞

あらい水と緑の会（栃木市）

優秀賞

大谷東部環境保全協議会・自然の郷武井（小山市）
思川西部農村環境保全会・寒川花桶の郷（小山市）
興野ほたるの里づくり環境保全会（那須烏山市）

審査員特別賞

みたとうぶ保全会・下石塚石塚の郷（小山市）
みたとうぶ保全会・桶田コスモス会（小山市）

とちぎの豊かな農村づくり写真

(1) 田んぼまわりの生きものの調査の部



最優秀賞

三区町環境保全隊（那須塩原市）

優秀賞

小泉環境保全会（益子町）
里西環境保全会（益子町）
みたとうぶ保全会・紬の杜渋井（小山市）

審査員特別賞

いずみネットワーク（日光市）

(2) 地域ぐるみの活動の部



最優秀賞 長久保五行会（さくら市）

優秀賞

本郷・松本環境保全組合（益子町）
 栗生環境保全会（益子町）
 黒羽向町農村環境保全会（大田原市）

審査員特別賞

三区町環境保全隊（那須塩原市）

平成29年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修会を開催

日時：平成 30 年 2 月 20 日（火）午後 1 時 00 分～
 場所：栃木県土地改良会館

平成 29 年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会を本会が主催で開催し、116 名が参加しました。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町職員および水土里ネットの役職員の技術力向上を図

るべく、土地改良区体制強化事業の一環として実施しています。

開講にあたり、池田真久専務理事が挨拶を述べ研修に入りました。

講師は関東農政局からお招きし、下記カリキュラムの内容でご指導をいただき、有意義な研修会となりました。



池田真久専務理事による開講挨拶



研修会の様子

カリキュラム

研修科目	講 師（敬称略）
①施策動向について ・「食料・農業・農村をめぐる課題と施策」、「農業農村整備事業の概要」	関東農政局 農村振興部 設計課 課長補佐 佐藤 秀彦
②事業制度について ・「土地改良区が実施する農業農村整備事業制度について（農地耕作条件改善事業）」	関東農政局 農村振興部 農地整備課 課長補佐 奥間 靖四
③災害復旧事業について ・「災害復旧事業の概要・災害の調査及び復旧工法について」	関東農政局 農村振興部 防災課 課長補佐 中村 恵一

第59回全国土地改良功労者表彰式

思川西部土地改良区が農林水産省農村振興局長表彰 荒川南部土地改良区が21世紀土地改良区創造運動表彰大賞

日時：平成30年3月26日（月）

午後3時00分～

場所：東京都砂防会館

東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サバーにおいて、全国水土里ネット主催による第59回全国土地改良功労者表彰式が開催されました。

表彰式は、農林水産省から齋藤健農林水産大臣をはじめ、荒川隆農村振興局長、室本隆司同次長、奥田透同整備部長、安部伸治同整備部設計課長、神田宜宏同整備部土地改良企画課長、横井績同整備部農地資源課長を来賓に招き、全国の受賞者・土地改良関係者約600名が出席して盛大に開会されました。

最初に、二階俊博全国水土里ネット会長が式辞を述べられ、続いて齋藤健農林水産大臣及び進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問からご祝辞を頂いた後、農林水産大臣表彰（5地区）、農村振興局長表彰（3地区）、①土地改良功労者表彰（金章28地区、銀章48地区、銅章31地区、個人117名）、②平成29年度農業農村整備優良地区表彰、③平成29年度21世紀土地改良区創造運動表彰大賞（3地区）部門賞（4地区）が執り行われました。

本県関係では、それぞれ下記の団体及び個人がめでたく受賞の栄に浴しました。

◇農村振興局長表彰◇

思川西部土地改良区（小山市）

◇土地改良功労者表彰◇（敬称略）

金章 湯津上土地改良区（大田原市）

銀章 国府土地改良区（栃木市）

黒羽土地改良区（大田原市）

銅章 小貝川中部土地改良区（市貝町）

個人 相田 英幸（江川南部土地改良区理事長）

渡邊 和子（大田原市土地改良区事務局長）

瀬下 敏明（大岩藤土地改良区電気主任技術者）

◇21世紀土地改良区創造運動表彰◇

大賞（農都交流クリエイター） 荒川南部土地改良区（那須烏山市）



式辞を述べる二階俊博全土連会長



本県の各賞受賞関係者



平成30年度 新規

氏名：高橋 昌一郎 (タカハシ ショウイチロウ) ✓

所属：総務部 総務課

①本会に入ろうと思った動機・きっかけは何ですか？

大学時代宇都宮で生活しており、前職の土地改良区での仕事を生かし栃木県の農業農村整備事業に携わりたいと思ったことがきっかけです。

②前職は何してました？

土地改良区職員でした

③趣味・特技・好きなものについて熱く語ってください

バスケットボール、釣り、お祭り (写真1)
栃木ブルックスの試合観戦も楽しみにしています！！

④座右の銘は？

「強くなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない」

⑤今後の抱負 (仕事面で) をどうぞ！！

改良区とは違った視点から農業のベースアップにつながるような仕事ができればと思います。



写真1. 獅子舞



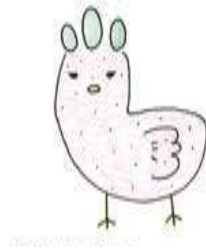
写真2. 川の主釣り

⑥その他 (何かあれば)

日々の勉強を大切に、自分自身成長できるように努力していきたいと思っています。



採用職員紹介



氏名：大場 隆太 (オオバ タカヒロ) ✓

所属：事業部 農村整備課

①本会に入ろうと思った動機・きっかけは何ですか？

今まで栃木県で暮らしてきたため、地域に根付いた社会貢献がしたいと考えておりました。大学で農業環境工学を学び、また、本会は農業分野に従事する農業生産者をサポートする役割があると考え、責任とともに非常にやりがいのある仕事であると思い、本会を志望しました。

②前職は何してました？

大学院修士課程を修了後、栃木県庁で農業土木職の臨時職員として一年間働いていました。積算システムや図面作成ソフトなど設計積算に係るシステムの維持管理、各種調査や事例照会の問い合わせ窓口などの業務を行っていました。

③趣味・特技・好きなものについて熱く語ってください

趣味は登山です。最近の四年間、毎年夏に富士山に登っています。昨年は吉田ルートで登り、天候に恵まれ、山頂を一周回のお鉢巡りもでき（写真1）、写真のとおり剣ヶ峰に到達できました（写真2）。

④座右の銘は？

「知るは一時の恥 知らぬは一生の恥」

今までの仕事では、わからないこと、疑問に思うことをそのままにせず、報告・相談することで仕事をスムーズに進めることができました。そのため、この言葉を座右の銘にして今後も仕事を進めていきたいと思います。

⑤今後の抱負（仕事面で）をどうぞ！！

初めは仕事に関して右も左もわからず大変かと思いますが、農村整備課の一員として、知識・経験を積み、少しでも早く仕事をこなしていきたいと思います。

⑥その他（何かあれば）

一年間社会人として働いておりましたがまだまだ技術的な知識・技能に関して少し不安はないとは言えません。本会への勤務を機に一人暮らしを始め今まで以上に仕事に集中できる環境ができ、また、仕事内容も今まで以上に責任のあるものとなっていくと思いますので、早く一人前の社会人になれるよう頑張ってまいります。皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

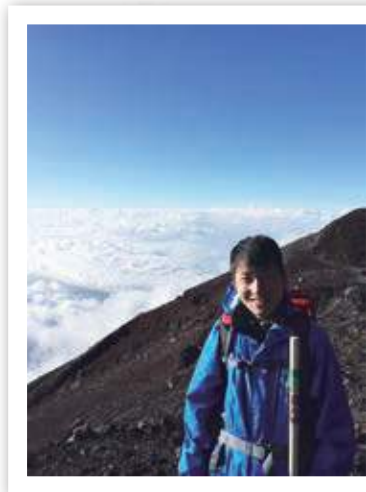


写真1. お鉢巡り風景



写真2. 剣ヶ峰の記念碑



御亭山さんから望む

シリーズ土地改良区紹介②

水 土 里 ネット 湯津上

湯津上土地改良区

【概要】

大田原市は、栃木県北部に位置し、平成 17 年 10 月に大田原市・黒羽町・湯津上村が合併し、県北の中核都市として発展を続けています。また、全国でも珍しい国指定天然記念物（ミヤコタナゴ）が生息する小川など自然豊かな環境、湯津上の「なすのくにのみやつこのひ那須国造碑」、黒羽の「うんがんじ雲巖寺」など古くからの伝統文化も残っています。夏には、「天狗王国祭り」、「だいもじひき大捻縄引き」などの行事も多数行われ、その迫力は圧巻です。その地域にある当土地改良区は、平成 18 年 1 月、8 つの土地改良区が合併し、現在の湯津上土地改良区となりました。箒川と那珂川と蛇尾川（さびがわじゃびがわとも呼ばれる）に挟まれた那須野ヶ原扇状地に展開し、北に那須連山、東に八溝山系を望む美しい自然に恵まれた本地域の用水源は、国営事業で整備された那須疏水や箒川と那珂川と蛇尾川からの取水で賄われています。また、水田を主としていますが、近年では、栃木の特産品であるイチゴやナシをはじめ、アスパラガス、ニラ、ホウレンソウ等の栽培も盛んに行われています。現在の地区面積は、1,509ha、組合員数は 1,068 名です。

【維持管理】

施設の維持管理については、合併前の 8 土地改良区ごとに設置した「地区維持管理委員会」で現在も行っています。地区の殆どが、昭和 50 年前後で実施した県営園場整備地区でもあるため、水路等の劣化が多くみられ、土地改良維

持管理適正化事業及び県単独農業農村整備事業を活用しながら修繕をしております。その他、小さな修繕等については、多面的支払交付金を利用し工事を実施しております。

【今後の課題】

組合員の高齢化・後継者不足・機械の更新に係る費用の問題、及び耕作放棄地増加等、今後の農業経営に不安が募る中、市役所など関係機関との連携を図りながら農業農村の発展に向き合っていかなければと考えています。

【湯津上の紹介】～観光・お祭り～

* 栃木県なかがわ水遊園 *

平成 13 年に開館した日本でも珍しい淡水魚水族館。関東地方を代表する鮎が遡上する清流、那珂川と箒川の畔に位置しています。体験型ワークショップやバックヤードツアーなどを通し、将来「さかな博士」を目指す子どもたちの教育の場ともなる、今や大田原市の観光スポットとなっています。

* こうまるさん光丸山祭礼 *

平成元年に天狗王国ゆづかみのシンボルとし、村おこしを行っており、湯津上村の時から続く光丸山祭礼では、現在も大天狗面を御堂から出して町内を練り歩いています。

* だいもじひき大捻縄引き *

約 22 年ぶりに復活した大捻縄引き。豊作・無病息災・家内安全など古くから伝承されている盆中行事のひとつで、大量の稲藁を使って長さ 50m・太さ 50cm を超える大縄をより上げ、大勢の人で引き合う迫力ある行事です。



光丸山祭礼



寄木造の犬天狗面



大捻綱引き



大捻綱作成作業

【佐良土上の台地区】

佐良土上の台地区は、那須野ヶ原連合関連地区でもあり、深山ダムより水が供給されていますが、温暖化に伴う、水不足もあり、毎年番水等を実施しながら作付をしている状況でした。また、現在の水路は造成後約 50 年近く経過している為、コンクリートの劣化による漏水が発生し、維持管理に多大な時間を要していました。これを改善するため「平成 29 年度県営農業水利施設保全合理化事業」を活用し、水路のパイプライン化及び自動給水栓の導入を進め水管理の省力化を図るための工事を実施しました。



第 59 回土地改良功労者等表彰 金章受賞



水土里ネット湯津上

所在地 〒324-0405 栃木県大田原市湯津上 5-776
 TEL : 0287 - 98 - 2221
 FAX : 0287 - 98 - 2621

土地改良区概要

設立年月	平成18年1月	理事数	17名
受益面積	1,509ha	監事数	3名
組合員数	1,068名	職員数	3名
総代数	45名		

各種資格取得者(平成29年4月～平成30年3月)

平成29年度において、各種資格試験に合格し、登録機関に登録となった職員は以下のとおりです。通常業務を遂行しながら切磋琢磨し、資格試験にチャレンジいたしました。

会員のみなさまのご期待に応えられるよう、今後とも努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

部署	氏名	資格名称
農村整備課 係長	岡本 功	農業土木技術管理士
施設保全課 係長	倉井 佳益	農業水利施設補修工事品質管理士
施設保全課 主任	高木 英昌	技術士補(農業部門)
施設保全課 技師	半田 泰基	測量士補
農村整備課 技師	福田 初美	技術士補(農業部門) 日商簿記検定2級
測量課 専門官	横山 和彦	土地改良換地士

第41回全国土地改良大会「宮城大会」のお知らせ

第41回全国土地改良大会「宮城大会」が、

～先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に
水土里の絆 復興の歩み～

をテーマとして、主催「全国土地改良事業団体連合会」、「宮城県土地改良事業団体連合会」、後援「農林水産省」、「宮城県」他により、来る10月16日(火)宮城郡利府町の宮城県総合運動公園内「グランディ21」を会場に開催されます。本県からは、10月16日(火)～17日(水)の1泊2日の日程で、往復貸し切りバスでの参加を予定しております。

【大会概要】

(1) 日 程 平成30年10月16日(火)～18日(木)

・16日大会式典、併催行事、交歓会

・17日～18日事業視察

(2) 開催地 大会式典 宮城県総合運動公園(グランディ21)

宮城郡利府町菅谷字館40-1

交 歓 会 仙台市内

事業視察 宮城県内一円(日帰り3コース、1泊2日3コースを設定(調整中))



第101回臨時総会・平成30年度会員研修会のお知らせ

本会は次のとおり、第101回臨時総会と平成30年度会員研修会を開催いたします。

◇第101回臨時総会◇

日時 平成30年8月30日(木)

午後2時00分～

場所 鬼怒川グランドホテル夢の季

日光市鬼怒川温泉大原1021番地

TEL: 0288-77-1313(代)

◇平成30年度会員研修会◇

○(1日目)

日時 平成30年8月30日(木) 午後3時30分～

○(2日目)

日時 平成30年8月31日(金) 午前9時～

場所 鬼怒川グランドホテル夢の季

クールビズ開始のお知らせ

本会では、今年度においても、職員の健康保持及び事務能率の向上並びに電力量消費節約に資するため、次の期間はノーネクタイ等の軽装にて業務を行いますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

実施期間：5月1日から10月31日まで

土地改良法の一部を改正する法律案概要

背景

- 組合員の高齢化による離農や農地集積の進展に伴い、土地改良区の中で土地持ち非農家が増加し、土地改良施設の維持管理や更新等が適切に行えなくなるおそれ。耕作者の意見が適切に反映される事業運営体制に移行していくことが必要。
- 組合員数や職員数の減少により、土地改良区の業務執行体制が脆弱化する中で、適正な事業運営を確保しつつ、より一層の事務の効率化が必要。

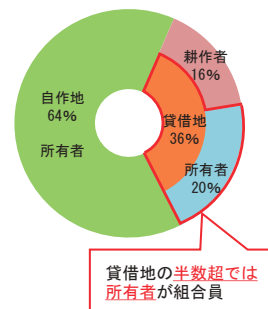
法律案の概要

1. 土地改良区の組合員資格に関する措置

- 所有者から耕作者への資格交替に係る農業委員会の承認制の廃止（届出制の導入）（第3条第2項）
- 農地中間管理機構が農地の貸借を行う場合の資格得喪通知の手続簡素化（第43条第3項）
- 貸借地の所有者又は耕作者で事業参加資格がないものに**准組合員（※1）**の資格を付与（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条第2項）

※1 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。また、組合員との間で賦課金・夫役の一部を分割して負担することが可能。

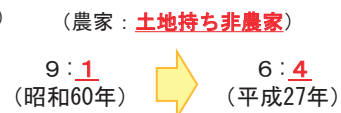
【自作地・貸借地と組合員の構成】



- 理事の5分の3以上は原則として耕作者たる組合員（第18条第5項）
- 利水調整規程を策定し、利水調整をルール化（第30条第1項第2号及び第57条の3の2）（農家：**土地持ち非農家**）
- 地域住民を構成員とする団体に施設管理准組合員（※2）の資格を付与（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条の2）

※2 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。また、土地改良施設の管理への協力を求めることが可能。

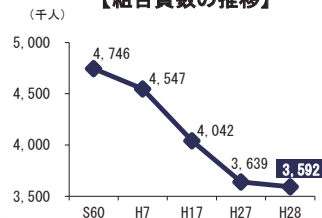
【農家と土地持ち非農家の戸数比】



2. 土地改良区の体制の改善に関する措置

- 総代会制度の見直し（第23条）
 - ・ 総代会の設置要件を組合員200人超から100人超に引下げ
 - ・ 総代選挙について選挙管理委員会による管理を廃止
 - ・ 総代の書面・代理人による議決権行使を導入
- 土地改良区連合の事業範囲を運営事務・附帯事業に拡大（第77条）
- 決算関係書類として、収支決算書に加え、原則として貸借対照表を作成し、決算関係書類の作成・公表に係る手続規定を整備（第29条の2）
- 監事のうち1人以上は原則として員外監事（第18条第6項）

【組合員数の推移】



農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/index.html>)

出前講座を活用しましょう

本会では、土地改良区の役職員等を対象とした出前講座を行っております。

講座内容については、役員改選等により新しく役員に就任された方々のための役員の職務について、土地改良区業務運営に係るものなど、幅広い内容でご要望に応じて対応させていただきますので、次の連絡先までお気軽にお申し込みください。

会員向けホームページ作成サービス開始のお知らせ

今年度より、会員様を対象としたホームページ作成サービスを開始いたします。

気軽にホームページを開設出来る様に、導入費・維持費共に安価にて提供出来る様、考えております。詳しくは総務課まで、お気軽にお問い合わせください。

◇連絡先◇ 水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会） 総務部 総務課
電話：028-660-5701 FAX：028-660-5711

株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

農業基盤整備資金の金利

平成30年4月18日付で、農業基盤整備資金の金利が次の通り改訂されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

(単位：%)

区 分	融資期間にかかわらず	融資期間（一例）			
		5年	10年	15年	20年
都道府県米補助残	0.45	—	—	—	—
団体営補助残	0.30	—	—	—	—
非補助一般	0.30	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.30	—	—	—	—
災害復旧	—	0.20	0.20	0.21	0.30

お問い合わせ先：

株式会社日本政策金融公庫 宇都宮支店
農林水産事業 農業食品課 担当：田中
TEL 028-636-3901
<http://www.jfc.go.jp/>

日本公庫

検索

全国水土里ネットからのお知らせ

～宮崎雅夫氏が都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問に就任～



全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）は、去る1月19日（金）都道府県土地改良事業団体連合会会長会議を開催し、前農林水産省農村振興局整備部地域整備課長の宮崎雅夫氏を都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問に委嘱することを決定しました。

上記会長会議顧問への就任は、進藤金日子参議院議員に続いて2人目となります。

編集後記

連合会で働き始めて2年目の春を迎えました、関本です。今年度もよろしくお願いいたします。本会では、スタッフジャンパー作成にあたり、キャラクターを職員から募集したところ、施設保全課半田技師の『栃の葉どじょう』が優秀作品として選ばれましたので、QUOカードを贈呈させていただきました。ジオリ作品を思わせるキャラクターだと思いませんか？

栃の葉どじょう

